



東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第 4 号)のトピックス

- 2021-22年シーズン(2021年36週/9月~2022年33週/8月)のまとめ
患者報告数の週別推移、入院サーベイランス
集団発生、ウイルス検出状況、ウイルスの遺伝子系統樹解析

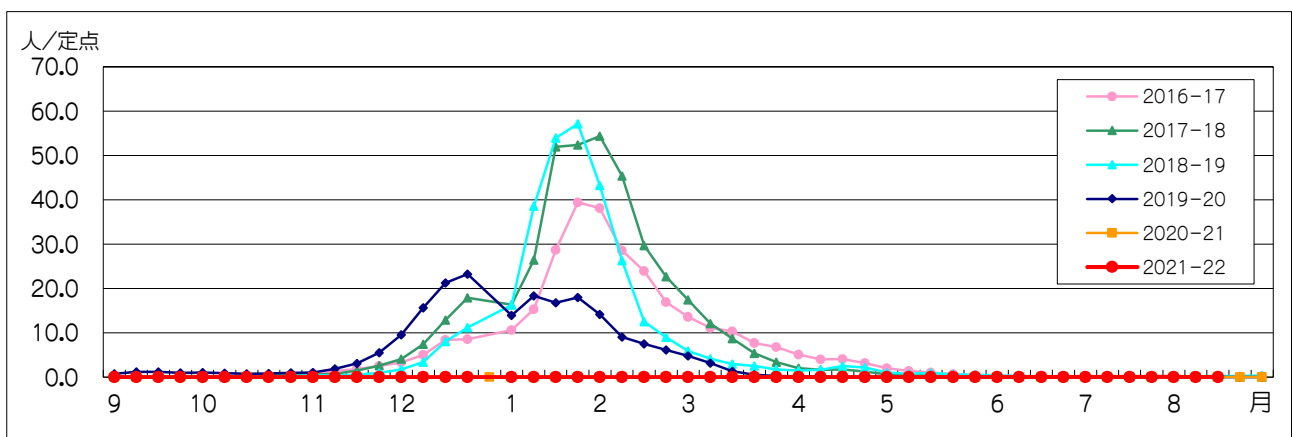


図1. インフルエンザ定点当たり患者報告数の推移(東京都)

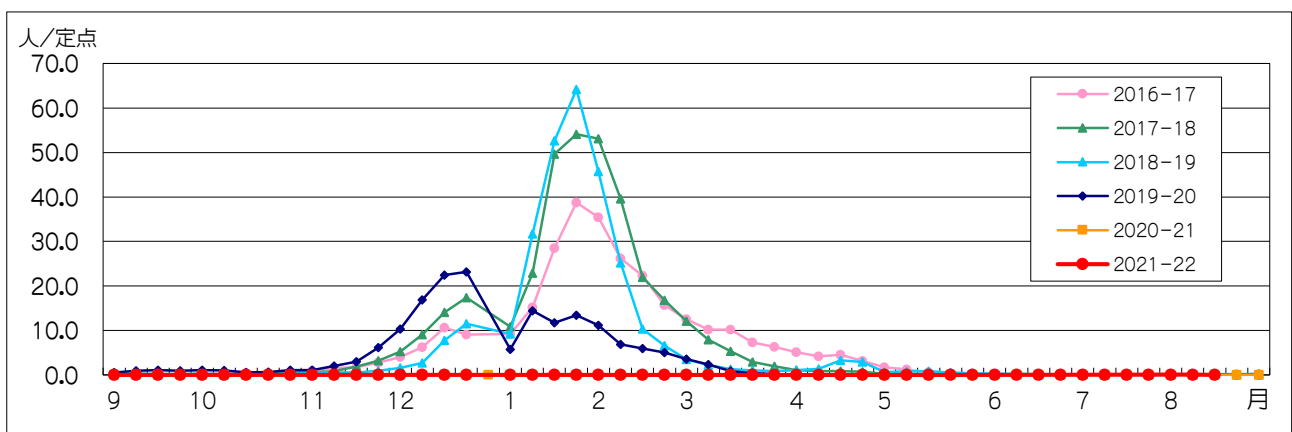


図2. インフルエンザ定点当たり患者報告数の推移(全国)

2021-22年シーズンのまとめ

(1)患者発生状況

東京都における2021-22年シーズン(以下、今シーズン)は、流行の目安である定点当たり1人を超えた週はありません(図1、図2)。

入院サーベイランスは、2021年49週(12

月6日~12月12日)、2022年29週(7月18日~7月24日)、2022年31週(8月1日~8月7日)に1人の報告がありました。(定点当たり0.04人)。今シーズンの入院サーベイランスの推移を図3に示しました。

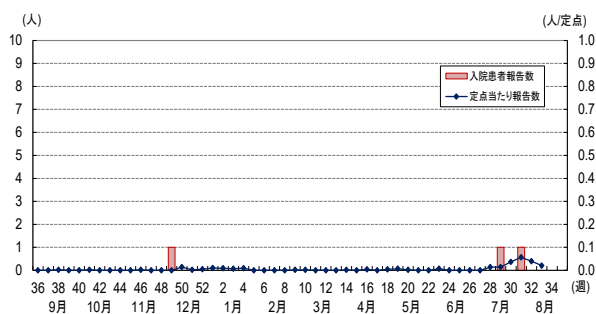


図 3. 入院サーベイランス 患者報告数

インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は、2022年25週(6月20日～6月27日)に小学校1件、2022年30週(7月25日～7月31日)に保育所1件の報告がありました。(図4)。

今シーズンの事例数は、保育所1件(先シーズンは0件)、幼稚園0件(同0件)、小学校1件(同0件)、中学校0件(同0件)、高等学校0件(同0件)、医療機関0件(同1件)、社会福祉施設0件(同0件)、その他0件(同0件)、合計2件(同1件)でした。

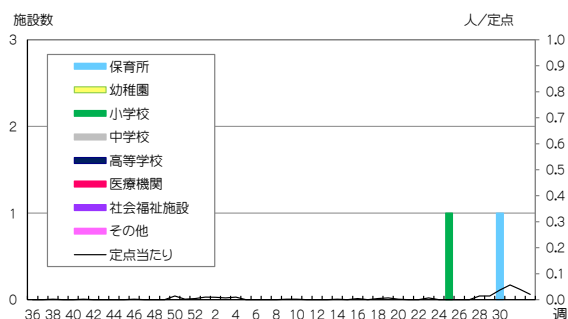


図4. インフルエンザ様疾患による集団事例

(2)ウイルス検出状況

定点医療機関から当センターに搬入された検体33件について遺伝子検査を実施した結果、インフルエンザウイルスは検出されませんでした。エンテロウイルスが4件、ライノウイルスが6件検出されました。一方、2022年6月、7月にインフルエンザの集団発生事例を対象としたクラスターサーベイランスで搬入された2事例の2件(保育所1件、小学校1件)それぞれから、インフルエンザウイルスAH3亜型が検出されました。

(3)2021/2022年シーズンに検出されたインフルエンザウイルスのヘマグルチニン(HA)遺伝子系統樹(東京都)

2022年6月、7月に検出されたAH3亜型2件について、HA遺伝子の分子系統樹解析を行いました。その結果、新型コロナウイルスの流行以前(2018年から2020年初め)の都内検出株とは異なるクレードに属し、2022/2023年シーズンのワクチン株と同じクレードに属していました(図5)。

AH3亜型が検出された2件のうち1件からウイルスが分離され、赤血球凝集阻止(HI)試験を行ったところ、ワクチン株と同等の反応性がみられました。

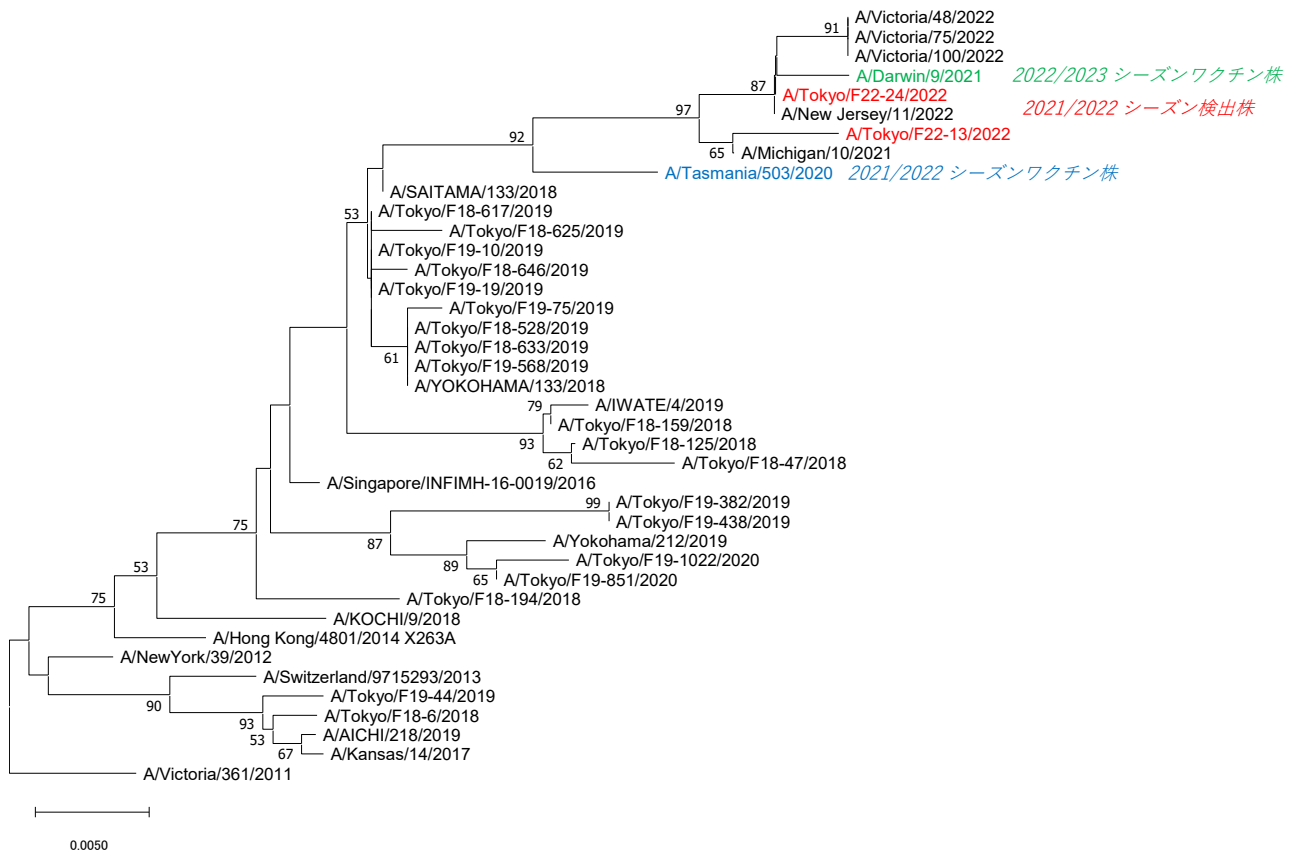


図 5. 東京都で検出されたインフルエンザウイルス HA 遺伝子(AH3 亜型)の分子系統樹